

令和5年度 実務研修

社会資源の活用 (模擬ケアプラン用)

●社会資源について：利用者の居住地で作成をお願いいたします。

注意：社会資源の調査では、行政(市役所等)や包括に絶対に問い合わせはしないでください。

利用者が地域で自立した生活を送るためには、社会で支えるシステムが重要です。地域、社会資源の情報が乏しいと、本人やご家族に、希望する生活を諦めてもらうことが多くなってしまいます。地域・社会に存在する人やものはすべて社会資源として活用できる可能性を秘めています。

事例のための社会資源ではなく、利用者の居住地周りにどのようなものがあるか調べて全て記入し提出してください。未記入が多い場合は再提出となります。

※事業所名は必ずマスキングを行って記入してください。

【社会資源あれこれ】

- ・主たる介護者以外の介護支援者
兄弟、親族、家族のようにお付き合いしている方、組内で親しいお付き合いをしている方
- ・介護保険関係
居宅介護支援事業所 (男性ケアマネが多い・土日対応可などの特徴を調べてください)
介護保険サービス事業所 (介護老人福祉施設、訪問看護、訪問介護、訪問入浴、他)
(何名定員・他の事業所とは違ったサービスをそれぞれ記入してください)
- ・行政関係
市町村 (介護保険課、高齢福祉課、健康管理センター、ふくしプラザ、他)
市町村が独自に取り組んでいる事業 (ミニデイ、緊急連絡システム、他)
県 (介護高齢課、施設監査課、保健福祉事務所、他)
県・市町村社会福祉協議会 (日常生活自立支援事業、他)
地域包括支援センター、在宅介護支援センター
- ・医療関係
病院 (救急、回復期リハ、特殊疾患、精神)
診療所 (かかりつけ医)
- ・地域
地区の各種組織 (区長会、民生委員・児童委員連絡協議会、ボランティア協会、他)
各種ボランティア団体、NPO法人、等
地域各種自営業者 (商店、飲食店、他)
建築関係業者 不動産業者 金融業者
各種イベント業者、等